

審議会等の会議結果報告書

【担当課】文化財課（八ヶ岳総合博物館）

会議の名称	茅野市博物館協議会		
開催日時	平成 31 年 3 月 27 日（水） 午後 1 時 30 分～ 2 時 57 分		
開催場所	八ヶ岳総合博物館 閲覧室		
出席者	沖野外輝夫委員長、小口隆秀副委員長、柄澤俊彦委員、市川純章委員、武居三男委員、伊藤彰敏委員、小野崎千恵子委員、小平一次委員、大勝弘子委員、西本綾子委員 山田利幸教育長、平出信次生涯学習部長、両角勝元文化財課長、守矢昌文尖石縄文考古館長、若宮崇令八ヶ岳総合博物館長、中澤正明神長官守矢史料館長、小池岳史考古館係長、両角英彦博物館係長、柳川英司古文書担当、渡辺真由子博物館係主査		
欠席者	根橋良紀委員		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
山田利幸教育長	<p>○ 議事</p> <p>1 開会</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>（1）会議の公開について</p> <p>（2）各館 平成 30 年度事業報告について</p> <p>4 閉会</p> <p>○ 会議録</p> <p>1 開会（平出生涯学習部長）</p> <p>2 教育長あいさつ</p> <p>6 月 27 日に第 1 回審議会を開催し、事業計画をご審議いただいた。3 つの博物館とも、それぞれの持ち味を発揮し、市民に担っていただき、茅野市の文化科学の中心になるよう努力してきた。</p> <p>尖石縄文考古館は、縄文の小屋作りという事業を中心に、多くの事業を行った。</p> <p>そして、2 体の国宝が東京国立博物館の縄文展に出て、パリ日本文化会館の展覧会に出た。また、県立歴史館の国宝土偶展に出るということで、縄文が広がり出したと思う。</p> <p>総合博物館は、市制施行 60 周年と同時に博物館開館 30 周年ということで、特別展や企画展を中心として様々な行事を行った。</p> <p>その中で、先日、市民研究員の方 30 人に認定証を授与した。ハードルが高く、3 年間で 24 回以上研究会などに出席し、指導者の推薦が必要である。この 30 人の方々が新たな担い手になる。モバイルプラネタリウムも大変大勢の方にご覧いただいている。科学教育の中心になりつつある。</p> <p>守矢史料館は、企画展「守矢文書にみる諏訪氏と守矢氏」を始め 3 つの企画展を実施した。</p>		

	<p>今年2月までの入館者が10,288人で昨年度同期より増えている。 中央公民館でつくった上社前宮てくてくマップを活用する中で前宮、史料館を歴史ゾーンの中心地にしていこうという歩みも始まっている。 どうか今日はそれぞれの館の事業についてご審議いただき、来年度に向けたご意見をいただきたい。</p> <p>3 協議事項 (1) 会議の公開について (両角博物館係長が説明)</p> <p>会議は、公開とすることに決まった。</p> <p>(2) 各館 平成30年度事業報告について</p>
<p>沖野委員長</p>	<p>各館 平成30年度の事業報告について説明してください。 最初に、尖石縄文考古館、お願いします。</p>
<p>守矢尖石縄文考古館長</p>	<p>(資料に基づき説明)</p>
<p>小口副委員長</p>	<p>東京国立博物館で行われた縄文展を見にいった。多くの客がいて、尖石の2つの国宝や縄文人気はすごいなと実感した。 先日、市民館で甲信縄文フェスティバルが行われた。そうした国宝級のもものが幾つか揃えばいいなと感じた。そんな計画は、どうか。</p>
<p>守矢尖石縄文考古館長</p>	<p>尖石縄文考古館で、国宝、重要文化財を展示するためには、相応の環境整備と文化庁の許可が必要になる。国宝を展示している所は基準を満たす構造になっているが、館の全てがそうになっていないので、実現できない。 近くでは、県立歴史館で5点の国宝が揃う機会があるので、PRしていきたい。</p>
<p>市川委員</p>	<p>7ページの入館者数で、無料とはイベントの場合か。</p>
<p>守矢尖石縄文考古館長</p>	<p>市内、郡内の小中学生などの来館である。</p>
<p>市川委員</p>	<p>1ページの縄文検定などは人数が載っていないが、個性あるまちを目指すなど考えると、縄文検定保有率は数値目標的によいと思う。 ほかの催し物も人数を載せているが、市内、市外、県外、年齢層などを把握しているか。</p>
<p>守矢尖石縄文考古館長</p>	<p>年齢以外は把握しているものもある。男女別も。 それを分析すれば、来館者、参加者の傾向はつかめる。</p>

市川委員	<p>分析すれば、もっと市外の人にも見てもらいたいとか、観光的にどう誘客するかという目安になると思う。</p> <p>事業報告として参加者数などを載せているが、それでどうなったかとか、どうしたいかという展望のコメントがあるといいと思う。</p>
守矢尖石縄文考古館長	<p>例えば、縄文検定では、市内の方だと必ず受けていただく仕掛け作りをしていかないといけないと考える。そのためにも、国宝にふさわしい館内整備をしていきたい。</p>
市川委員	<p>そういうコメントがこの報告書にも記載されていると、報告書を通して多くの人と目標を共有できると思う。</p>
小平委員	<p>入館者が多く、私たちが活動していると、かなり質問を受ける。縄文に注目が集まっていると感じている。</p> <p>入館者が多いので、施設の面でもう少し自由に使えるお金があればいいと思う。</p>
市川委員	<p>目的がしっかりしているので、ふるさと納税やクラウドファンディングで協力を得るという方法もある。</p>
沖野委員長	<p>講師派遣も多く、盛り沢山に事業を実施し、よく頑張られたと思う。</p> <p>次に、八ヶ岳総合博物館、お願いします。</p>
若宮八ヶ岳総合博物館長	<p>(資料に基づき説明)</p>
市川委員	<p>認定された市民研究員の活動の報告として、実験工作グループは12ページなどに載っている。</p> <p>他のグループも載せると、市民研究員養成事業が広がりを見せているということになると思う。</p>
若宮八ヶ岳総合博物館長	<p>実験工作グループは子ども科学工作クラブなどの指導者として関わっている。天文グループは自分たちがつくった番組を投影する活動をしている。</p>
渡辺博物館係主査	<p>サイエンスフェスタ、エコフェスタ、博物館活動発表展のイベントデーで投影している。</p>
武居委員	<p>私は、市民研究員養成講座の指導者として関わっている。昨年、長野県環境保全研究所の収蔵庫を見学し、県内に植物の標本を収蔵する施設は少なく、その維持は大変だということが分かった。</p> <p>郡内で植物標本を保存してあるところはほとんどない。資料を収集し、保管する活動を継続し、博物館の財産を増やしてほしい。</p>

	<p>標本作りなど市民研究員の皆さんは意欲的なので、協力を得て進めていってほしい。</p>
若宮八ヶ岳総合博物館長	<p>市民の皆さんの努力で作られた標本が博物館に収蔵されれば、十年先、二十年先に光を放つものになると考えている。</p> <p>博物館は、職員には定年があり、いなくなるが、資料は残る。博物館に関わっている市民に定年はないので、博物館に関わり続けることができる。市民の皆さんにとって、博物館に資料を蓄積したことは誇りになると思う。博物館を市民に支えてもらい、高めてもらうことが市民研究員の狙いである。</p> <p>郡内に自然を扱うところは総合博物館しかないので、郡内の自然の記録をきちんと収蔵して残していくことが大きな役割だと考える。</p>
沖野委員長	<p>生物や地質などの標本は博物館の命みたいなものなので、長期計画で収蔵していくことが必要である。</p>
伊藤委員	<p>博物館には、自然、伝統、歴史などの資料があるが、道祖神の所在、山城の資料はあるか。</p>
柳川古文書担当	<p>石造物に関しても把握しなければならないが、手が回らない状況である。山城は、市史にも関わった宮坂武男先生が調べている。</p>
伊藤委員	<p>質問したのは、城山にお住いの方が富士見から岡谷までの街道沿いの道祖神を調べた写真を城山区公民館に展示しているので、この機会に紹介したい。</p> <p>山城については、武田信玄狼煙リレーを上原城址でも行うということなので、城山の狼煙台も参加しないかという話があった。山城についても調べてもらえたらと思う。</p>
沖野委員長	<p>各地区でそういう情報をもっているところがある。博物館が中心になって集めてはどうか。</p>
市川委員	<p>公民館活動とつながると思う。お宝マップ作りを通して地域の魅力の発掘と情報発信に取り組んでいるところがある。</p>
沖野委員長	<p>次に、神長官守矢史料館、お願いします。</p>
中澤神長官守矢史料館長	<p>(資料に基づき説明)</p>
沖野委員長	<p>入館者が1万人を超すということだが、施設としてははいっぱいか。</p>
柳川古文書担当	<p>2倍を目指している。</p>

沖野委員長	<p>各館とも活発に活動して、年々新しいことを行い、努力していると思う。</p> <p>それでは、3館の平成30年度の事業報告は、以上とします。</p> <p>4 閉会（両角文化財課長）</p>
-------	---